

すこやかコラム

よく耳にするあの病気 **がん** ～がん検診で がんによる早すぎる死を防ごう～

内閣府のがん対策調査で「がんのイメージは?」と聞くと、90%の方が「怖い」というイメージでした。特に40歳以下の若い世代に多いようです。理由は、がんは「死に至る」「痛みがある」「周りに負担をかける」「治療費が高額である」という回答でした。「がんによる痛み」は、どのがんも早期の場合ほとんどありません。がんが臓器などに広がることによる直接的な痛みのほか、手術、放射線治療、化学療法による痛みや入院生活でおこる筋肉痛や褥瘡などもがんの痛みといえます。痛みは、病状に合わせてコントロールをしますが、病状が進むにつれ難しくなります。「周りに負担をかける」「治療費が高額」は、負担が治療の時間やお金と考えると、ステージ1のがんを発見する事で負担は軽くなりますが、多様化するがん治療に備えておくことが安心です。

次に、「2年以内のがん検診を受けていますか?」と聞くと、「受けている」と答えた方は、42.7%でした。受けてない理由は高齢者で、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」30歳代は、「検診費用が負担である」、50歳代は「受ける時間がない」という回答が多くなっていました。「症状が出てから病院に行く」は、症状があつてからではがんが進行している可能性が高いです。「検診費用が負担」は、市町村の補助がある事が多いので市町村にお問合せください。「時間がない」は何を優先するかです。検診を受ける時間とがん治療をする時間など考えてみてはいかがでしょうか。

皆さんご安心ください。がんは「怖い」病気ですが、がん発見時、ステージ1(早期がん)の場合の5年生存率は、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんでは90%以上です。ステージ4で発見された場合は、胃がんが6.3%、大腸がんが18.3%、乳がんが39.8%、子宮頸がんが25.9%と生存率が下がります。定期的に科学的根拠の確立したがん検診を受診し、早期発見・早期治療が出来れば、「がん」による早すぎる死を防ぐことができます。がんで死なないためには、早期がんを見つけることが重要です。



(広報 黒原久美子)

第23回 健康づくりセミナー

参加費用
無料

「第23回健康づくりセミナー」を開催します。皆様の参加をお待ちしております。

【日 時】 2025年2月21日(金) 13時～16時(予定)

【場 所】 宮崎市民プラザ(オルブライトホール)

【内 容】 演題:ガンが教えてくれたこと～自分に向き合ってみつけた夢～(歌唱もあります)

講師:シンガー 木山裕策氏



申込フォームは
こちら

QサンテQ クイズ

「遺伝性腫瘍」の
特徴でないものは
どれですか?

応募方法

サンテクイズに正解した方の中から抽選で3名の方にクオカード1,000円分をプレゼントします。必要事項をご記入の上、宮崎県健康づくり協会HPやサンテクイズ応募フォーム、または、ハガキにてご応募ください。いただいた個人情報は、プレゼント発送のみに使用させていただきます。

前回のサンテクイズの答え B.身体を動かさない でした!

< 必要事項 >

- ① サンテクイズの答え
- ② 年齢
- ③ お名前
- ④ 郵便番号、住所
- ⑤ サンテの感想、ご意見など

- A 家族内で特定のがんが繰り返し発生する
- B がん発生の5%を占める
- C 若年で発症しやすく、多発・重複して発症する
- D 遺伝子を調べれば、診断や治療に必ず結びつく

応募締切 **令和7年4月25日(金) 当日消印有効**

当選者の発表は、プレゼント発送をもって代えさせていただきます。クイズの答えは次号で発表します。



応募先

応募フォームはコチラ▲

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
宮崎県健康づくり協会「サンテ宮崎」係

編集後記

令和6年は、地震や豪雨など自然災害に悩まされました。気温も四季を感じる事が出来ないくらいの異常気象でした。しかし、この条件の中で私たちは生きています。環境と共生しながら豊かな日々を送るためにも自分の体にも目を向けることも大切です。自分の体は自分でしか分からないし、癒してくれるのも自分ですよ。